



青森県の優良材

作成 三八地域県民局地域農林水産部平成33年度南部あかまつ活用研究会成果



# ふるさとの木「南部あかまつ」

青森県南部の三八地域は森林の約3分の1がアカマツ 林です。アカマツは近くの山にある木として古くから建築 用材などに使われ、地域になじみの深いふるさとの木とし て親しまれてきました。特にこの地域は松くい虫の被害を 受けておらず、岩手県の北部と合わせ、貴重なアカマツ 資源が豊富に残っています。

青森県 三八地域 秋田県 岩手県

目次

- 02 刻を経て強さを保つ「南部あかまつ」の建物
  - アカマツの特徴
- 03 強さ/豊かな表情/ヤニのこと
- 04 地域とともにある林業、そして家づくり 自然素材としての価値/地域の木を使った家づくり
  - アカマツの活用事例
- 05 住空間
- 09 構造材 梁•桁
- 11 内装材 フローリング
- 13 生活用品 そば打ち台/ポスター&フォトフレーム/ディッシュプレートセット
- 14 公共空間 八戸駅/八戸ポータルミュージアム「はっち」
- 15 地域の取組
- 15 八戸に残るアカマツ並木

## 「南部あかまつ」の建物刻を経て強さを保つ

アカマツは古くから日本人にとってなじみ深い木材として活用されてきました。例えば、古い寺社や城郭の小屋組(建物の屋根を支える骨組み)に使われています。小屋組に見られる丸太梁や太鼓梁は、強度があって粘り強いアカマツの性質と、曲がった木そのものの美しさを活かした日本独特の使い方です。

また、民家にも使われてきました。三戸郡階上町の大正年間に建てられた民家では、現在も頑健な構造を残しています。黒々となった太い梁や鴨居が力強い存在感を示し、五世代にわたって住み継がれてきたアカマツの床は、艶のある落ち着いた深い色となって、今なお弾力のあるやさしい踏み心地を感じさせてくれます。





アカマツは曲げに対する強度に優れた木材 です。スギやヒノキなどの国産針葉樹のなか にあっては最も強く、粘り強さがあります。 曲げに強く、たわみにくい特性を活かして、 住宅では横架材となる梁に適しています。 この強さが地震にも強い住宅を造るのです。

また、耐久力があってすべりが良いので、 敷居や鴨居などの摩擦部に使われます。



強度試験の様子。

## かな 表情

木目が明瞭で、多様な模様を持っています。 色合いは全体的に黄白色で、芯に近いところ はピンク色から赤褐色のものまであります。 油気があるため磨けば艶が出てきます。年月 を経ると味わい深いアメ色に変わってきます。

節もアカマツの特徴です。左右対称で間隔 を開けて付き、小さな節から大きな節まであ ります。節のない部分を選んで製材すると、 高級な無節の板になります。



上/独特の木目が美しい床板。 下/年月を経た風合いを見せる古民家の床板。

自然のまま、木の個性が楽しめる節ありの床板。



松脂で知られるように、粘りのあるヤニが あります。まれにヤニつぼがあればヤニが染 み出てくることがありますが、ヤニは加工さ れて食品添加物に使われるロジンを成分に持 つもので、全く無害のものです。人工乾燥に よりヤニは抜かれますので、ほとんど心配は ありません。

住宅に使われるアカマツは、長い年月をかけて育った貴重な木材です。建築用材として見れば、樹齢50年では若いと言われ、70、80年を超えるものが良いとされます。それは直径50cm以上、樹高30mを超えるような大木で、このなかから選び抜かれたものだけが住宅に使われるのです。木の一本一本にはそれぞれ個性があります。曲がり方や節の付き方、木目など、ただ一つとして同じものはありません。それが自然に生きた木の個性、本物の自然素材の証です。



### 地域とともにある林業 そして家づくり

地域の木を使った家づく

スギやアカマツなど、地域に育った木を適材適所に使う家づくりが行われています。そこでは、木を伐採し、デザインや設計に合わせた製材をし、大工の技をもっう流、住まいとして仕上げるといがり、は上げるといがり、の本を使うことがすったは、一つ約であるとのがあれば近くの本を使うなルギーとコストを使のでがり、の木ををしいがあれば近くの木を使っていかがあれば近くの木を使ってがあれば近くの木をであるにあが場があれば近くのでがり、でではありません。人とのつながり、それだけではありません。人といに変着とおいてはあります。



## 生 里





登り梁、胴差、通し柱、床板にアカマツが使われています。



登り梁は、自然の曲がりを活かし、径 33cm もある八角削り。











**梁・桁用平角材** 長さ 3000 ~ 6000mm 厚さ 105 ~ 150mm 幅 105 ~ 360mm

製造三八地方森林組合木材加工センター(五戸町)





「南部あかまつ」の内装材美しい木目と色艶を持つ刻とともに風合いを増す





家族の成長とともに床は艶を出し、変化していくことが感じられます。

**寸法** 長さ 910mm、1820mm 幅 105 ~ 150mm 厚さ 12 ~ 24mm

**仕様** 節あり・節なし、無塗装

表に 大前建具製作所(階上町) ザイケ工芸(八戸市) 三八地方森林組合木材加エセンター(五戸町)

## そば打ち台



美しい柾目の板面

三八地域で使われてきた そば打ち台は、昔からアカ マツが使われてきました。 アカマツは地域のそば文 化を影で支えています。

長さ 1000mm 幅 900mm 厚さ 30mm 柾目板を接ぎ合わせています

高野木工 (八戸市)

ポフ スォ 夕 卜 & ム





アクリル板と組み合わせ ることで木目を活かし、木 の風合いを美しく見せな がら写真やポスターを展 示します。

仕様 長さ 450mm 幅 350mm 厚さ 20mm 写真等は A3 サイズまで入ります

製作 ザイケ工芸(八戸市)

ツ ユ プ セ ツ

デ



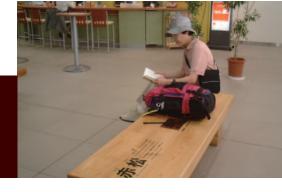


食卓に木の器があると、 なんだか心が和みます。 やさしい木の温もりと手 触りが感じられるディッ シュプレートセットです。

仕様 プレート3枚、小皿3枚のセット

製作

森工務店(階上町)







八戸 ポータル ミュージアム 「はっち」





右上段/市松模様のテーブル、右中段/スリットデザインのベンチ、右下段/カーブを描くテーブル 左上段・中段/こどもはっち(アカマツの床板)、下段左・下段中/2階ホレンガ壁にはスギ、アカマツ、ケヤキ、 ナラ、イチイの個性的な木ブロックがはめ込まれています



### 地域の取組



強度試験の様子。



研修会の様子。

三八地域県民局地域農林水産部では、 地域に豊富なアカマツ資源を有効に活用 し、建築構造材や内装・木製品などのアカ マツ製品の普及を図るため、試験研究や 製材技術研修、内装・木製品の開発に向 けた勉強会の開催など、地域の関係者と 共にブランド育成の取組を行っています。



乾燥試験の様子。

二ツ家から南郷村市野沢にかけての国道 340 号線沿いには、登り街道のアカマツ並木が続いています。青森県内では、弘前市百沢通り(旧岩木町)と十和田市のアカマツ並木が有名ですが、二ツ家からのアカマツ並木も藩政時代に栽培されたもので、文化遺

産的価値が高いものです。

高さ 25m 胸高幹周 2.7m に達する巨木もあり、地域 の環境に適応して巨木に育 つ形質を持った有用材の遺 伝子資源としても重要です。

道路拡張などで残っている数は少ない ものの、歴史的価値は大きい。

